



学校通信

中 神

平成31年2月28日

昭島市立中神小学校
校長 松井 茂

今日の一步は 明日への一步 明日への一步は 未来への一步

光の春と言われる通り、日差しが明るくなりました。肌を感じる風はまだまだ冷たい毎日ですが、早いもので、もう3月。6年生は卒業の 때가近づいてきました。明日は6年生を送る会、来週にはなかよし班のお別れ会があり、それが終わると卒業式に向けて練習も本格的に始まります。本校の卒業式は、在校生を代表して5年生が参加し、卒業生の晴れの門出を祝い、卒業生の姿から学ぶ機会としています。

6年生は、家族や地域の皆様の温かい見守りの中で大きく成長しました。そして、たくさんの「思い出」を心の中に刻むことができたのではないかと思います。心にしみる良い思い出も辛い思い出も、嫌な思い出もあったことと思います。心にしみる良い思い出は、自分を励まし、生きる元気と自信を育ててくれます。辛い嫌な思い出は、無ければ無い方がよいのですが、その辛さ、苦しさを受け止め直せば、かえって自分を強くし、心を広くしてくれます。思い出は、心の中で生き続け、これからの人生に生きる知恵と勇気を与えてくれます。夢と希望をもち中学校へ進学してほしいと思っています。今日を積み重ねて明日がある。これからの社会を支えていく子どもたちに贈りたい言葉です。

学校教育は、知識や技能といった基礎的な部分の習得状況を、量的に明らかにすることは可能です。しかし、コミュニケーションといった対人関係能力や学習と生活に対する意欲、課題解決能力、実践力等はなかなか数値には表れません。また、教育もすぐに効果を期待できるものでもありません。家庭や学校での指導、日常生活、習い事等による日々の積み重ねの結果として、近い将来発揮されるよう期待すべきものです。長い人生の中で、今日の一步がどれほどのものかは、説明しかねますが、明日への一步であることは間違いありません。

子どもたちは、間もなく修了と進級、そして卒業を迎えます。残りのひと月、現在の学年での学校生活が充実することを願って止みません。中でも6年生は、「中学校に入ったら、高校に入ったら、大学に入ったら、将来は・・・」と夢に希望が膨らんでいることと思います。明日からを一層輝かせるためにも、今日という日の努力や誠実な取組を大切に、残りの小学校生活を過ごしてほしいと思います。

「今日の一步は 明日への一步 明日への一步は 未来への一步」。活躍を心より応援しています。

全ての保護者の皆様、地域の皆様に対して、学校へのご協力とご支援に厚く御礼申し上げます。